



ふるさとの自然 (62)

大きな声で鳴く オオヨシキリ

○ヨシ原のあるじ

オオヨシキリはスズメより一回りほど大きく、全身が茶色の鳥です。5月の連休のころに東南アジアなどの南の国から、ヨシの群生した池や沼、河川敷、休耕田などに渡って来ます。ヨシの先端に止まって大きく口を開け「ギョシ、ギョシ、ギョギョシ、ギョギョシ」と大声で鳴くので、昔から行行子と呼ばれて親しまれています。一日中ヨシ原で暮らし、草むらにすむ昆虫などを食べています。利根川の河川敷などに多くすんでいます。市内でも見ることができます。

○タフな雄

春になると、まず雄が先に渡って来て大きな声でさえずります。昼間だけでなく夜も鳴き続けて、子育てのための縄張りを確保し雌を待ちます。巢は敵に見つからないよう、生い茂ったヨシ原の奥に作ります。地上1～2mの高さに枯れ草やヨシの葉を細かく編み、何本かのヨシにまたがったつぼ型の巣を作ります。ちなみにオオヨシキリは一夫多妻制で、一夫五妻の例もあるそうです。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)

イキイキ

あさひっ子



かける
翔琉くん

平成26年1月9日生

両親＝石上佳祐さん
裕珠さん〔清滝〕

最近すべり台を逆走するのにはまっています。

あかり
朱里ちゃん

平成26年7月31日生

両親＝林勝弘さん
絢子さん〔椎名内〕

寝返りできるようになったよ!!
真っ赤なリボンがお気に入り♡



りおと
龍雄人くん

平成26年10月18日生

両親＝小林勝裕さん
由梨奈さん〔二〕

将来世界一の男になるでちゅ♡



“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。対象は小学校入学前の幼児です。申込用紙は旭市保健センター、飯岡保健センター、旭市子育て支援センターハニカム、子育て支援課、秘書広報課、各支所にあります。

編集こぼれ話

新たに4月から広報担当となりました。初めての一眼レフカメラに触れ撮影に自信が持てませんが、少しでも皆さんのお役に立てる情報を伝えたいと思いますので、よろしくお願いします。新たにといえば、2ページにあるように国土強靱化地域計画が策定されました。東日本大震災の被害を経験した私たちが、次の世代に何を残すべきか。とにかく自分の命を守り、リスクに備えのある地域をつくること。「防災」を「文化」にする取り組みがここから始まることを願います。(M)

くらしのカレンダー

3日(日) 憲法記念日

市民陸上競技大会(午前9時～ 東総運動場)

4日(月) みどりの日

5日(火) こどもの日

10日(日) 母の日

31日(日) 春のゴミゼロ運動(午前8時～)